

令和5年度5月

第590回 風土記の丘教室



雨乞山と前田遺跡の発掘現場 [松江市提供]

日時 2023年5月13日 [土] 午後2時～4時

会場 島根県立八雲立つ風土記の丘 ガイダンス棟

演題 発掘調査成果からみる八雲ムラの古墳時代祭祀

講師 永野 智朗 先生 (松江市埋蔵文化財調査課)

《講座のご案内》 申込不要・資料代200円

第591回風土記の丘教室

日時 | 6月18日 [日] 午後2時～4時 ※6月は日曜日の開催です

演題 | 環頭柄頭に用いられた青銅原材料

～ 出雲出土資料の銅鉛原材料産出地を探る ～

講師 | 澤田秀実 先生 (くらしき作陽大学音楽学部 教授)

令和5年度第1回ガイド養成講座

日時 | 7月 (未定) 午後2時～4時

演題 | 未定

講師 | 佐藤雄一 先生 (駒澤大学文学部 講師)

令和5年度第2回ガイド養成講座

日時 | 8月5日 [土] 午後2時～4時

演題 | 未定

講師 | 吉松大志 先生 (宮内庁書陵部編修課 研究官)

《展示のご案内》

①春季企画展

「古墳時代の八雲ムラ ― 神郡の胎動 ―」

会期 | 4月22日 [土] ～ 6月5日 [月]

入館料 | 大人200円 (160円) 大学生100円 (80円) 高校生以下無料

※ () 内は、20名以上の団体料金

学芸員による企画展示解説 申込不要・参加無料・要入館料

6月3日 [土] 午後1時から30分程度

②夏季企画展

「古代の秘宝を探せ!! ～ ウシナワレタドウグ ～」

会期 | 7月8日 [土] ～ 8月28日 [月]

入館料 | 大人200円 (160円) 大学生100円 (80円) 高校生以下無料

※ () 内は、20名以上の団体料金

会期中に学芸員による企画展示解説をおこなう予定です。

新型コロナウイルス感染症の状況によって、イベントを中止・変更する場合があります。
最新の情報は、ホームページなどでご確認ください。

発掘調査成果からみる八雲ムラの古墳時代祭祀

永野智朗（松江市埋蔵文化財調査課）

1. はじめに

松江市八雲町にある前田遺跡は県内でも有数の祭祀遺跡として知られています。ここでは古墳時代に流れていた意宇川支流に水路と護岸を設けて水に関する祭祀が行われていたことが発掘調査によってわかっています。同じような例は近畿地方を中心に全国各地で確認されつつあり、水を祀ることは古墳時代の人々にとって重要な行為だったようです。

今回の講座では、前田遺跡の発掘調査成果を中心に、古墳時代の八雲ムラで行われた祭祀の実態について考えます。

2. 古墳時代の祭祀とは

祭祀＝「信仰にもとづき神を対象に行う儀礼行為」（笹生 2016）

※神＝人知を超えた超越的な存在（自然環境など）

3. 前田遺跡の概要

平成7（1995）年調査、国道432号線バイパス整備に伴って発掘調査が行われた。

「意宇川の支流の一つである東岩坂川の旧河道から見つかった、県内を代表する祭祀遺跡」（川上 2022）

- ・旧河道に堰と取水口を取り付け、その周辺で祭祀が行われた。
- ・出土遺物は琴や紡織具、建築部材などの大量の木製品や土器、玉類であり、豊富な祭祀遺物を含む。
- ・祭祀の時期は幅広いが、5世紀後半と6世紀末ころにピークがある。

4. 各地の水辺祭祀（笹生 2016）

- ・川の合流・分岐地点や湧水地、井戸などで行われる。
- ・堰や導水施設を用いることが多く、居館内に水を引き込むこともある。
- ・ほとんどの祭祀遺跡では同じような道具立てで祭祀が行われている。
- ・古墳時代前期（3～4世紀）までには成立し、古墳時代中期（5世紀）には体系化され、全国に広がる。
- ・5世紀の汎列島の水利灌漑や土地開発の進展と強い相関性をもつ可能性。

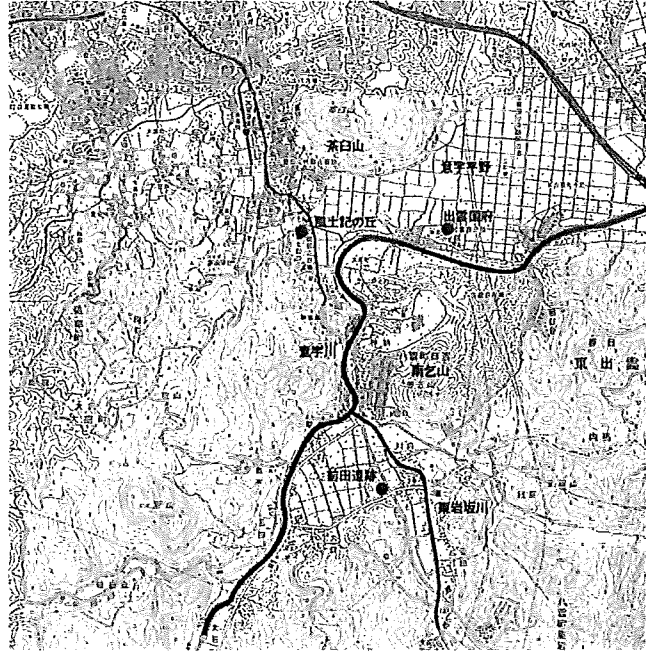
5. 八雲ムラの祭祀が語るもの

- ・一義的には、田畑や農業の安寧を祈る目的で祭祀が行われたはず。
- ・ただし、祭祀そのものはかなり戦略的に行われていることから、それ以上の意味を持っていた可能性。
- ・古代の日本には土地に対する観念として、加功主義という考え方が存在していたらしい。
 - ※加功主義・・・「開発者が土地支配の正当性を社会的に承認される」考え方（池淵 2021）
- ・前田遺跡における水辺祭祀は、
 - ① 水利灌漑の場で行われた
 - ② 当地における土地開発とセットで導入された（池淵 2021）という特徴があり、有力者が土地支配の正当性を民衆に刷り込む目的をも有していたのではないか？
- ・「八雲ムラ」という地域的・領域的まとまりを作り出す、もしくはより強固にすることを可能にしたのがこの前田遺跡で行われた祭祀であった。

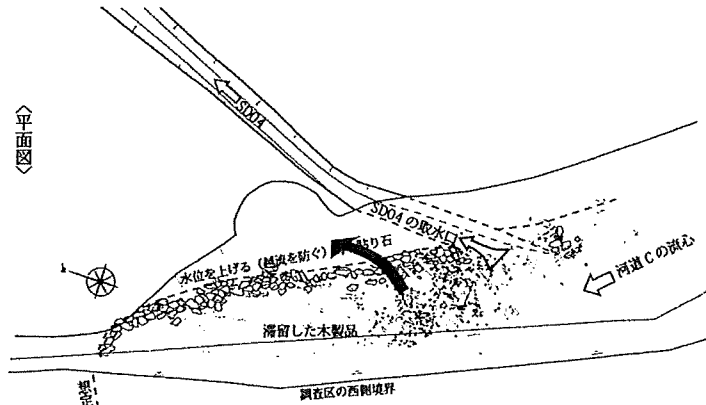
6. おわりに

〈引用文献〉

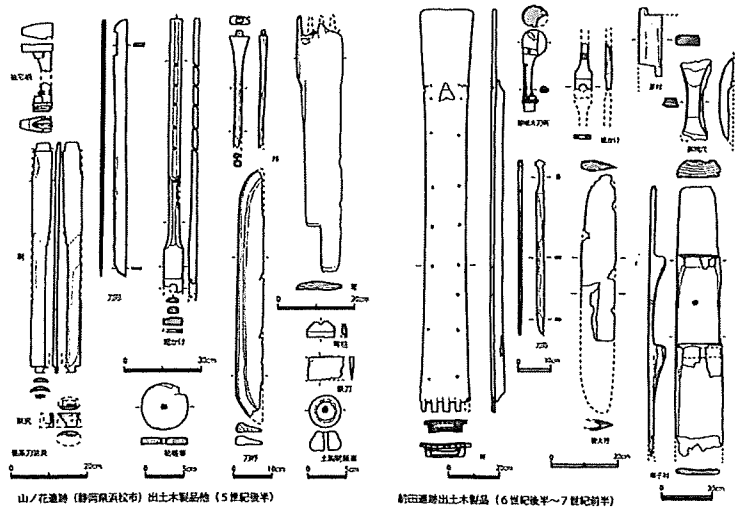
- 池淵俊一 2021「水利開発と地域権力」『考古学研究』第68巻第3号
川上昭一 2022「水辺の祭祀」『古代出雲の中心地・松江』松江歴史館
笹生 衛 2016『神と死者の考古学』吉川弘文館
島根県八雲村教育委員会 2001『前田遺跡』



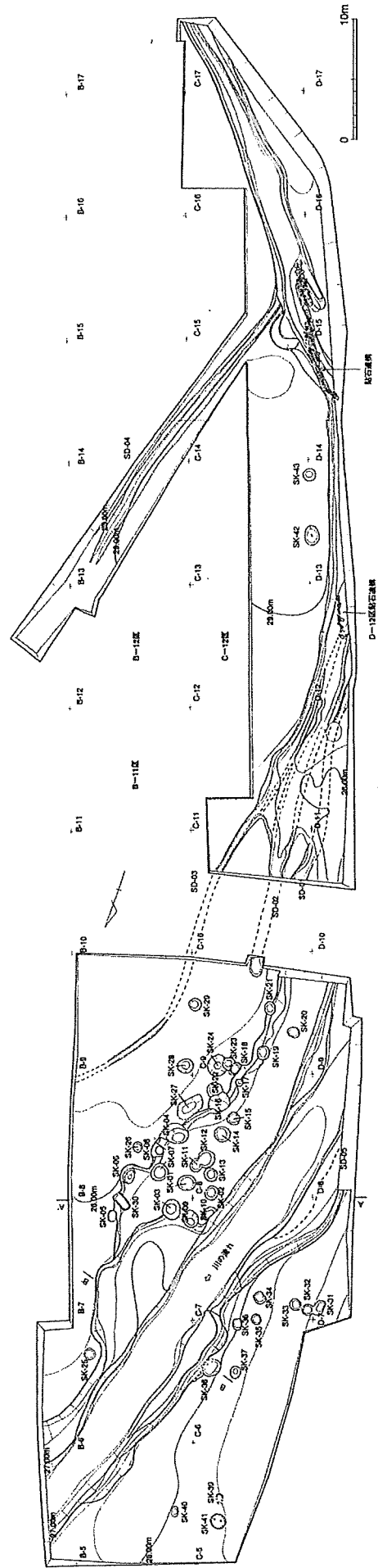
前田遺跡の位置



河道と貼石遺構、取水口の関係 (松尾 2015)



左：山ノ花遺跡 右：前田遺跡の祭祀道具 (笹生 2016)



前田遺跡遺構配置図